

西区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体				
美しいまちづくり事業		西区自治連合協議会				
事業目的	事業内容	活動指標	H31	R2	R3	
<p>子どもから高齢の方まで参加可能な美化活動を実施し、普段は自治会未加入で回覧板が回ってこない家庭にも、幅広く参加を呼びかけることで、自治会活動の趣旨に理解を深めてもらう。 また美化活動を通じて、美しいまちづくりへの関心を高めてもらうことを目的とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各校区で美化活動日を設定し、地域の子どもから高齢の方が集い、校区の実情に応じた美化活動を行う。 ・ポスターの掲示や自治会、PTA、子ども会、老人会等の各種団体へのチラシの回覧を通じた広報活動を行う。 ・1校区15,000円を上限として、各校区ごとに活動に必要な清掃道具を支給する。 ・ゴミ袋、軍手などの消耗品の支援を行う。 ・美化活動により回収されたゴミの収集を担当部署に依頼する。 	<p>①参加人数もしくは実施校区数</p> <p>②報告書を提出いただき実施方法等について検証を行う。</p>	<p>14校区中12校区で実施</p> <p>聞き取り調査を行った結果、概ね例年どおりだった。</p>	<p>14校区中7校区で実施</p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大で、創意工夫して実施しているものの、参加者は減っていた。</p>	<p>14校区中12校区で実施</p> <p>新型コロナウイルス感染症の長期化においても、創意工夫しながら、逆に前年度よりも参加者は増えていた。</p>	
①妥当性		②協働の視点		③インパクト		
○	<p>清掃活動がきっかけで自治会活動に参加し、美しいまちづくりへの関心を高める良い機会となった。</p>	○	<p>行政として清掃活動の広報や清掃用消耗品の用意を行った。計画や地域での声かけ、実施は校区自治連合会が主導で行い、それぞれの役割を分担し、協働して事業を進めることができた。</p>	△	<p>地域で定期的な清掃活動も行っているため、インパクトに欠ける面があり、新たな手法を検討していく必要がある。</p>	
④効率性		○	<p>企画段階から区民の協力を得て、区民のアイデアを活かしている。また、地域内での広報においても区民の協力を得て、区民のマンパワーを得ながら、効率的に事業を実施することができた。</p>			
⑤自立発展性		総合評価				
△	<p>校区自治連合会が中心となり、当事業の計画、実施を行い、清掃に必要な消耗品や道具は行政が準備を行った。今後、参加者の動向を見ながら、清掃に必要な消耗品や道具の精査をしていく必要がある。</p>	△	<p>新型コロナウイルス感染症が長引く中において、感染対策・安全にも配慮しながら前年よりも多くの方に参加していただいた。世代間交流等によるごみ問題についても意識づけられたと感じた。</p>			
今後の方向性(課題、改善提案等)						
<p>拡充 継続 見直し 廃止</p>	<p>今後は、校区担当者からの意見・要望等を踏まえ、より良い環境でこの事業を継続することが望まれる。</p>					